

週刊 タバコの正体

未成年者の喫煙は法律で禁止されていますが、20歳になれば法的には自由に吸うことができます。その昔、タバコはコーヒーやお茶と同じ嗜好品として扱われていましたから、大人になれば自由に吸えた時代もありました。

しかし、現在では大人になっても自由にタバコを吸える場所はどんどん減っています。最近では事務所や作業場が禁煙の会社が当たり前になってきている上、勤務中に職場を離れてタバコを吸う事も禁止している企業や役所も出始めています。さらに、路上での喫煙禁止条例がある市町村も珍しくなく、敷地内全面禁煙の大学や禁煙の海水浴場も着実に増加しています。

そして、タバコが吸えない飲食店も増える一方です。下の表は「禁煙スタイル」というグルメ情報サイトに掲載されている禁煙飲食店の店舗数です。4年前には1万2千店舗だったのに対し最新の情報では3倍以上の3万8千店舗にまで増えています。このように世の中全体がタバコを必要としなくなっているのです。世間の目が気になり、どこでも自由にタバコを吸える状況ではなくなっています。

法律上、大人になればタバコを吸う事は許されていますが、現実には大人になっても自由に吸えるわけではありません。だから一生タバコを吸う必要はありませんよね。

産業デザイン科 奥田 恭久

禁煙飲食店
の変遷

2009年1月		2013年11月
東京都・・・3,768		東京都・・・7,933
愛知県・・・1,416		愛知県・・・6,737
大阪府・・・1,332		大阪府・・・2,998
神奈川県・・・978		神奈川県・・・2,732
京都府・・・809		京都府・・・3,043
兵庫県・・・752		兵庫県・・・2,049
奈良県・・・110		奈良県・・・415
滋賀県・・・95		滋賀県・・・229
和歌山県・・・17		和歌山県・・・106
：		：
全国・・・12,631	増加	全国・・・38,556